

2020年4月から2021年1月の期間に沖縄県内医療機関を受診し、COVID-19検査のために咽頭ぬぐい液または唾液検体が採取され、沖縄県衛生環境研究所で行政検査が行われた患者さまへ
(第1版)

当機関では琉球大学および当機関の機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	沖縄県の急性呼吸器ウイルス感染症流行における地理・社会的特徴の解明
当院の研究責任者 (所属)	沖縄県衛生環境研究所 感染症研究センター 室長 大西 真
他の研究機関および各機関の研究代表者	研究代表者：山本 和子（琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学講座）
本研究の目的	本研究は、COVID-19 パンデミック以降の沖縄県における市中感染呼吸器ウイルス(CARV)の流行動態を明らかにすることを目的としています。琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科講座と連携して、2020年4月～2021年1月に採取されたCOVID-19検査陰性の咽頭ぬぐい液および唾液検体を用いて、RSウイルス、ライノウイルスなどの呼吸器ウイルスの検出を行い、地域性、年齢層などの観点から沖縄県内における呼吸器ウイルス感染症の伝播様式を解明します。
研究実施期間	研究機関の長の許可日～2027年12月31日
調査データ(該当期間)	2020年4月～2021年1月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	<p>●対象となる患者さま（下記①～③すべてを満たす患者さま）</p> <p>①2020年4月から2021年1月の期間に沖縄県内医療機関を受診し、COVID-19検査のために咽頭ぬぐい液または唾液検体が採取され、沖縄県衛生環境研究所で行政検査が行われた患者さま</p> <p>②COVID-19 PCR検査陰性と判定され、沖縄県衛生環境研究所に検体が保存されている症例</p> <p>③検体採取時に発熱（37.5℃以上）または呼吸器症状（咳嗽、咽頭痛、鼻汁、鼻閉など）を有していた患者さま</p> <p>●利用する試料・情報</p> <p>- 沖縄県衛生環境研究所に保存されている検体（咽頭ぬぐい液・唾液）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> - 基本情報（検体搬入日、検査日、検査結果、検査方法、検体採取日、対応保健所、届出医療機関、発病年月日、性別、年齢（診断時）、検査実施機関） - ウイルス検査結果（RS ウイルス、ライノウイルスの有無、遺伝子解析）
試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法	他機関へ試料の提供は行わない。共同研究機関間での情報の授受に関しては、データにパスワードを設定しメール送信で実施する。
試料・情報の二次利用	今後、必要が生じた場合、日本国内の外部機関（国立感染症研究所など）、日本国外の外部機関に別の検討で本研究のデータを二次利用する可能性はありますが、その際には別途倫理審査委員会の審議を申請し許可を得ます。
個人情報の取り扱い	<p>調査により得られた情報を扱う際は、個人情報とは関係のない符号または番号を付して匿名化し、沖縄県衛生環境研究所で管理します。匿名化に用いる対応表は、施設内の施錠できる保管庫で管理します。論文作成時、また学会発表時には個人が特定できる情報は一切用いません。</p> <p>検体に付随する情報および解析データは電子データとして保存し、パスワードロックをかけたコンピュータで管理します。保管期間は研究終了報告から5年または結果の最終公表から3年のいずれか遅い日までとし、廃棄時には復元不可能な形で消去します。</p>
本研究の資金源（利益相反）	各種研究助成金などに申請予定である。本研究は琉球大学利益相反審議部会及び当機関の利益相反手続きに従い、必要事項を申告し、その審議と承認を得ています。
お問い合わせ先	<p>沖縄県衛生環境研究所 感染症研究センター 電話：098-987-8222 担当者：眞榮城 徳之</p> <p>琉球大学病院感染症・呼吸器・消化器内科 電話：098-894-1406（医局番号） 担当者：上 若生</p>
備考	本研究は、当機関で保管されている行政検査の際に採取された検体および診療の情報を研究対象にするので、被験者に対する介入は一切行いません。そのため、本研究に起因する健康被害が発生することはありません。本研究で得られた結果を対象者へ説明する予定はありません。ご参加拒否の申し出があった場合には、対象患者に関する試料・データはすみやかに廃棄します。